

一般質問

質問者

岡久工山渡辻園周新人伏周北関田河福飯
 保田之内田藤井見木東川口島井島
 藤内辺 田藤井見木東川口島井島
 渡辻園周新人伏周北関田河福飯
 恒男博彦夫男雄二人久一始一規
 朗一人肇恒男博彦夫男雄二人久一始一規
 純裕英 正基雅達武康照久直忠賢英
 朗一人肇恒男博彦夫男雄二人久一始一規
 (市民の風) (公明クラブ) (日本共産党議員団) (いちえ) (クラブ21) (桐政会) (市民の風) (公明クラブ) (日本共産党議員団) (いちえ) (クラブ21) (桐政会) (市民の風)

12月17日(木)・18日(金)の2日間にわたり、18人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属会派名

両国橋周辺対策事業

岡部 純朗(桐政会)

質問 両国橋境野町側の周辺対策事業の進捗状況は。

答弁 両国橋に通じる境野町側市道の狭小部分の拡幅工事については、都市計画道路小友線との接続部となる箇所から全体計画延長百七十メートルを工事区間とし、今年度は、施工延長八十メートル区間を着手した。また、都市計画道路小友線の境野町側については、今年度現況測量を実施している。この測量結果に基づ



き道路線形等を検討する中で、来年度には地元地権者との調整を図り、さらには今後の事業の進め方についても検討していきたい。(両国橋に通じる境野町側市道)

新里町南部幹線

久保田 裕一(市民の風)

質問 南部幹線が今年度中に全線開通すると、県道笠懸・赤堀今井線も含め、交通量の増加が見込まれるが、多数の通学路が存在する中、歩行者の安全確保は。

答弁 県では県道笠懸・赤堀今井線の香林町二丁目西交差点から南部幹線への接続まで約千四百五十メートルの区間を計画幅員九・七五メートルに拡幅する工事を進めている。歩行者の安全対策については、片側



に二・五メートルの歩道を設置し、用地買収の完了した箇所から順次工事を進め、完了は平成三十年度を予定している、とのことである。(新里町南部幹線)

ホームページでの情報発信

工藤 英人(創志会)

質問 情報発信機能をより強化するため、誰が見て



(市役所ホームページ)

も分かりやすいHP(ホームページ)に改善することが必要と思うが市の見解は。

答弁 市HPについては、来年二月からの全面的な刷新に向け現在準備を進めている。新しいHPは、誰にとっても使いやすく、またわかりやすくなることを特に重視し取り組んでおり、さらに災害時の緊急対応やセキュリティ対策の強化も図れるシステムの構築を目指している。その上で、基本方針に則り、桐生らしさを随所に感じ取れるHPにしたいと考えている。

奨学金制度の改革と充実

山之内 肇(公明クラブ)

質問 延滞金利の大幅引き下げ、連帯保証人の要件緩和を早急に実施すべきと考えるが見解は。

答弁 他市の状況などを調査したところ、奨学金制度を利用しやすい方向に変更されているケースも見受けられるので、平成二十九年度の貸付者を目的に検討し、対応していきたい。
質問 給付型奨学金制度の創設を強く要望するが。
答弁 新たな奨学金制度



の創設については、産業振興のための人材確保や人口減少対策からの定住促進など、いろいろな施策を踏まえ、現在検討している。(桐生市役所)

子育て・教育に関する経済的支援

渡辺 恒(日本共産党議員団)

質問 当市の就学援助の状況はどのようになっているか。

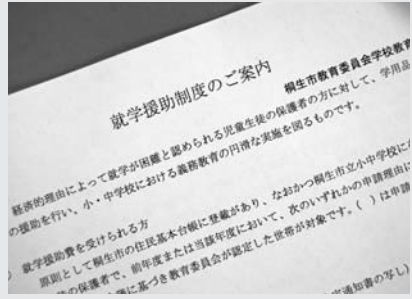
答弁 文部科学省が実施した調査によると平成二十五年度は、八・七七パーセントとなっている。

質問 家庭への周知について不十分と考えるが。

答弁 年度当初に各学校の学級担任が家庭訪問を実施した際に家庭状況を把握するなかで必要と思われる家庭に「就学援助制度の案内」を手渡し周知している。

今後は、入学時の説明会で案内を全家庭に配布すること、ホームページ等に掲載するなどさらなる周知の徹底を検討している。

(修学援助制度のご案内)



〔概〕桐生市総合教育センターの設置

辻 正男(いちご)

質問 桐生の教育を総合的に捉えられる機能を持ったセンターの設置にあたり、どのような目的を持って事業を行っていく考えか。

答弁 就学前の子どもたちから青年までの相談窓口が分散し市民の方々が利用しにくい状況を解消するため、(仮称)桐生市総合教育センターは相談窓口の一本化を目的としている。これにより、教育委員会として子育てや教育相談の窓口

のワンストップ化、相談を受ける側の連携の充実、桐生の教育史や郷土史の展示教職員の研修の場の充実を図れるものと考えている。

質問 ベンチャー企業等への投資促進にどのような施策を講じているのか。

答弁 創業支援機関と密接に連携しながら、総合的な創業相談窓口として、各機関への適切な橋渡しを行っている。また、職員を派遣している経済産業省とのネットワークを通じて、国等の補助金の獲得の支援等にも積極的に対応している。



雇用創出労働政策

園田 基博(創志舎)

質問 過去に実施した提案で実現したものは何か。

答弁 東日本大震災復興支援と節電対策、究極のクールビズを目的としたキノピーポロシャツの作製等の他に、昨年度に桐生織のPRを目的とした桐生織による職員の名札ストラップの作製を実現している。



桐生市で」ということで、市内に多くの創業者を創出し、地域活力を向上させることで、将来の雇用の拡大につなげていきたい。

水道事業管理者の設置

周藤 雅彦(クラブ21)

質問 大震災などの災害の際は市長に代わって判断

(桐生市水道局)



を、的確に出せる人が必要。

また、簡易水道の水道事業への統合や梅田浄水場建設、五年後には下水道の企業会計移行。さらに行財政改革の一環としての職員削減などにより、市民ニーズに対してきめ細やかな対応が難しくなっているため、水道事業のプ口として管理者を置くべきと思うが。

答弁 組織の運営方法としては管理者設置も検討しているが、今のところ特に問題は無いので現状で水道事業管理者を置く考えはない。

有害鳥獣対策

新井 達夫(桐政舎)

質問 狩猟期間を延長すれば狩猟実績が向上し、有

(捕獲されたイノシシ)



害鳥獣としての捕獲数が減少するので奨励金削減にもつながら。有害鳥獣対策に効果的だと思われるが。

答弁 狩猟期間の延長は県の決定事項であり、群馬県においては延長していないが、有害鳥獣対策の観点から有効な手段なので、関係機関と連携し研究したい。

質問 有害鳥獣捕獲隊の意欲向上のために奨励金の上乘せをどうするか。

答弁 県内では前橋市が実施していると聞いている。今後とも他市の状況を見ながら検討していきたい。

職員提案事業

人見 武男(創志舎)

質問 過去に実施した提案で実現したものは何か。

答弁 東日本大震災復興支援と節電対策、究極のクールビズを目的としたキノピーポロシャツの作製等の他に、昨年度に桐生織のPRを目的とした桐生織による職員の名札ストラップの作製を実現している。

が、市の見解は。答弁 桐生市のPRになり、大変いいことであると考えてるので、検討させていただきたい。

(桐生織の名札ストラップ)



町会・自治会支援

伏木 康雄（市民の風）

質問 今後の取り組み及びスケジュールについて。

答弁 今後は、地域の課題解決に向けた自治組織への実態調査を予定している。地域の実情や地域間格差等の実態を把握することで問題を洗い出し、自治組織にはどういった支援が有効かというニーズを見極めた上で効果的な対策を講じていきたい。自治組織は、市民が安全と安心を実感して暮らせるまちづくりを進め

る上で欠かせない。今後とも、持続可能な自治組織の運営が図れるよう区長連絡協議会と連携し、努力していきたい。

（桐生市役所）



相生町五丁目の公共下水道

関口 直久（日本共産党議員団）

質問 相生町五丁目地区の、みどり市との境界付近（相生町五丁目の境界付近）



における、公共下水道の布設予定は。

答弁 行政区域界が複雑に入り組んでいる地域においては、一つの道路に両市の下水道管が重複しないように、効率的な公共下水道の整備を進めており、この場所は、みどり市の計画予定箇所となっている。

みどり市が同地区に優先的に下水道管を布設するのは困難だということだが、市民の期待にこたえられるよう、今後とも機会を捉えてみどり市に要望していきたい。

証明用写真機の設置

周東 照二（公明クラブ）

質問 個人番号カード申請用の顔写真を市役所内で撮影できるように多くの市民が要望しており、市役所内に個人番号カード申請機能付き証明用写真機の設置が必要と考えるが市の見解は。

答弁 個人番号カード申請機能付き証明用写真機は、高崎市、前橋市、渋川市にある商業施設内に設置されており、未だ桐生市には設置されていない。市役所内に証明用写真機を設置する

（個人番号カード申請機能付き証明用写真機）



ことは市民の利便性の向上と共に個人番号カードの普及拡大も期待できるため、その導入に向けて関係部局と検討してまいりたい。

桐生祇園祭の屋台や鉾

田島 忠一（いちご）

質問 文化的価値のある祇園祭の屋台や鉾を文化財に指定してはという要望はないのか。また、このように価値のあるものが指定されていないのはなぜか。

答弁 屋台は本町の各町会に一台ずつの計六台、鉾については本町三丁目の「翁鉾」と本町四丁目の「四丁目鉾」の二台があり、それぞれの文化的価値は非常に高いものと認識している。文化財指定については、歴

史的な変遷や保存状況の把握など詳細な調査を実施するとともに、所有者の意向を踏まえ、協議研究していきたい。

（鉾曳き遣い）



任意の予防接種に対する補助

北川 久人（創志会）

質問 予防接種の金額は高く、補助が必要と感じる。行政サービスとして、わかりやすい特典を付与すること、また人口減少対策の観点からも補助が必要と考えるが、当局の見解は。

答弁 任意の予防接種は、保護者の負担が大きいと感じている。基本的には、子育て支援施策等、それ自体の充実が最も重要であると考え、人口減少対策等も考慮すると、行政サービ

スに特典をつけることによる効果や、必要経費等について、子育て支援施策全体の中で研究・検討する必要があると考えている。

（予防接種を受ける乳児）



（仮称）梅田浄水場について

河原井 始（クラブ21）

質問 概算事業費について。

答弁 見直し後の工事費については、水需要を踏まえて段階的に整備するので、単純に当初計画と比較すれば必然的に事業費が増となるが、給水人口に応じた投資になるので、ご理解いただきたい。

質問 桐生川ダム水没者五十九戸の思いをどう考えているのか。

答弁 ダム建設により、

水没した地域住民の遺志に報いるためにも、桐生市民の水道水源として、これからも有効に活用できるように取り組んでいきたい。

（梅田清流広場）



一般会計の補正予算

○平成27年度桐生市一般会計補正予算（第5号）

可決

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ2億1,418万8,000円を増額補正して、予算総額を463億4,670万6,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

- 民生費民間保育所費
助成事業
.....1,040万円の増額
(保育充実促進費補助金)
- 民生費放課後児童健全育成費
放課後児童クラブ運営事業
.....4,895万4,000円の増額
(放課後児童健全育成事業委託料)
- 教育費文化振興費
桐生文化芸術発信事業
.....1,491万7,000円の追加
(桐生文化芸術発信事業負担金)

○平成27年度桐生市一般会計補正予算（第6号）

可決

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ1,097万円を増額補正して、予算総額を463億5,767万6,000円としたもの。

歳出予算の補正内容

- 総務費情報管理費
社会保障・税番号制度システム整備事業
.....1,097万円の増額
(システム改修委託料)



指定文化財への特別融資

福島 賢一（桐政会）
質問 重伝建地区の文化財として指定を受けた物件（市内の重伝建地区）

の修繕等には、多額の費用が必要とされる。現状の補助金の枠内では維持管理で、個人負担が重くのしかかり持ちこたえられない場合が想定されるため、その軽減策として特別融資等の措置は考えられないか。

答弁 同地区への助成制度は、指定・登録された文化財に対しさらなる補助金の上乗せ等は行っていないが、修繕内容により所有者負担が大きくなる場合もあるので現制度の運用を図る中で極力負担を軽減できるように研究していきたい。

桐生テキスタイルの世界ブランド化

飯島 英規（市民の風）
質問 「織都」千三百年の桐生市のテキスタイルを世界ブランド化する必要があると考えるが、亀山市長のお考えを伺いたい。

答弁 桐生織物協同組合や桐生商工会議所をはじめ、色んな企業グループや単独企業のオリジナルブランドへの取り組みが年々実績をあげているため、繊維産地桐生のブランドイメージが一層高まり、国内外に浸透していくものと考えている。



世界ブランド化は一朝一夕にはいかないが、今後も地元繊維業界と連携し、桐生テキスタイルのさらなるブランド化に努めていきたい。（台北テキスタイルフェアの様子）

人事 案件

市議会は、次の人事案件五件に同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

石原 照久氏
(新任)

教育委員会委員

大澤 美智子氏
(再任)

公平委員会委員

山崎 眞由美氏
(再任)

監査委員

岸田 信克氏
(再任)

しめ谷 信良氏
(再任)

選挙管理委員 同補充員の 選出

任期満了に伴う選挙管理委員と同補充員の選挙を行い、いずれも指名推薦により選出しました。

選挙管理委員

津久井 英子氏

野村 雅文氏

笠原 康利氏

小池 恵津子氏

同補充員

彦部 篤夫氏

朝倉 教子氏

宮田 典子氏

丹羽 秀明氏

